

スキンケア実例のご紹介

犬種: ペキニーズ

主な症状・お悩み

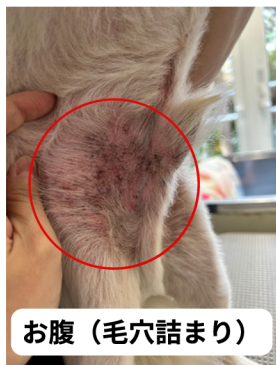
- 皮膚のかゆみ、赤み
- 季節の変わり目にトラブルを起こしやすい
- 投薬や塗り薬で一時的に治るが不安定で繰り返す
- 面ぼう（毛穴のつまり）

ケア開始前の皮膚の状態 (before)

長い間皮膚トラブルと付き合ってきたわんちゃん。

お腹の皮膚の毛穴の詰まり（＝面皰（めんぼう））
他に、手足を日常的に舐める、皮脂のベタつき
など、足裏・お腹周りは不快が出やすい状態でした。

投薬や外用薬で一時的に落ち着くことはあるものの
根本的な安定にはつながらず、ご家族さまもケア方法に
悩まれていました。



継続ケア後の皮膚の状態 (after)

スキンケアを継続していく中で、皮脂量が落ち着き
以前よりも皮膚の状態が安定してきています。

写真ではわかりにくい部分もありますが、実際には

- 皮脂量（ベタつき）の減少
- 毛穴詰まりの改善（スキンケア2回目頃～）
- 部分的に薄くなっていた箇所の発毛
- 発毛する毛質の改善
- 皮膚の質が滑らかに（肉球の弾力の違い）

といった変化が感じられました。



経過の中で行ってきたこと

- 病院での定期的なスキンケア
- 皮膚状態に合わせたケア内容の調整
- お家でのシャンプー、保湿の併用

お家での変化

- 頓服として併用していた痒み止めを飲まなくても飲んでいる時と同じくらいの痒みでおさまる時も増えてきた
- 場所によっては舐めなくなった
- 発毛を実感している
- 外用薬（塗り薬）はほとんど使用していない
- 保湿効果を実感している

ケアの様子



現在まで約2ヶ月の期間、経過の途中で一時的に皮膚状態が崩れる時期もありましたが大きな悪化は見られず、その都度無理のない方法を選びながらケアを続けてきました。

ケアを続ける中で見えてきたこと

定期的にケアを行い、皮膚の状態を観察していく中で

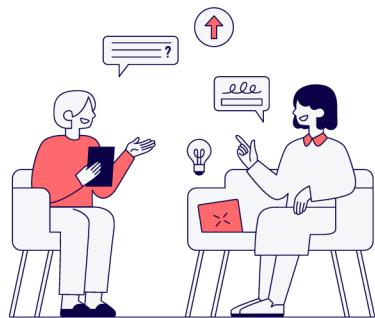
「何日くらい経つと、皮脂が出やすくなるのか」

「どのタイミングでケアを入れると安定しやすいのか」

など、皮膚のコンディションのリズムや体質の目安が
少しずつ見えてきました。

スキンケアでは、長期的に皮膚を観察し、

毎回の状態を確認しながら、ご家族さまと丁寧にすり合わせていくことが
皮膚を安定につなげるためのポイントと感じています。



今回ご紹介させていただいたわんちゃんは

お家のケアとバランスをみながら

現在も引き続き定期的に病院でのスキンケアを行っています。

全てのわんちゃんが同じ経過をたどるわけではありませんが

一つの参考としてご覧いただけたらと思います！

引き続き経過を追いながら、

また変化があればご紹介できたらと思います。

